

平成29年4月26日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(55回公演)報告  
29.4.25 介護老人保健施設やまざくら 寄居町末野

昨年年末の押し迫った頃、前にお世話になった大澤真弓さんからオファーがあり同施設での2回目の公演が実現しました。前回公演からの日が経ていないので、練習なしでの公演です。この施設は波久礼の簡保「寄居」の近くの高台に位置し、目の前には秩父へ通じる有料道路の橋脚と新緑の木々に覆われた風布の山々が間近に迫り美しい場所にあります。正装に着替えて2時前にラジカセの設定で公演会場へ入ると、既に30人程の方々が今か今かと開演を待っていました。正装姿でしたので、「衣装がきれいですね」とお誉めの言葉をもらいちょっぴり嬉しい気持ちになりました。そして2時少し前に今日の施設利用の方々の待機している会場に栗原さんの先頭に入場し大きな拍手に迎えられました。

最初は舂田さんの口上と「南京玉すだれ」の演技です。皆さんの拍手を戴きながら一つの「すだれ」から繰り広げられる形状の変化の驚きで更に大きな拍手を戴きました。

次いで「玉すだれ」の動きのお話をして、4人それぞれの得意技を見せて「何に見えますか」という問いかけに応えるクイズに移りました。その後「きよしのズンドコ節」があり、触れ合いコーナーでは「玉すだれ」を実際に手に持ち、ニコニコ顔をして職員撮る写真に収まっていました。職員参加の「サザイさん体操」では、手が不自由な方も曲に合わせもしかかもしれないが嬉しそうに動かしていました。最後に栗原さんからの「東京五輪音頭」を行って楽しい公演が終わりました。



